

東京の博物館めぐり－40

板橋区－1



平野 武宏

今回は板橋区の博物館めぐりです。(2020年11月に訪問) 区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。右上の写真は地名にもなった「板橋」です。江戸時代には宿場名にもなりました。脇の柱には「日本橋から十軒六百四十二米」・「二里二十五町三十三間」と記載。

バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」の途中経過も報告します。

[板橋区立郷土資料館] 板橋区赤塚 5-35-25

最寄駅 三田線 西高島平駅南口

右側にある歩道橋を上がり、案内板に従い、首都高速 5 号線に沿い歩くと赤塚公園入口表示があります。右折すると、溜池があり、その右脇が「板橋区立郷土資料館」(写真下左)です。入口には3基の大砲が陳列。説明板には「英国



で開発された 24 ポンド砲 (カルロンナーデ) で近距離の目標に対して大弾丸を打ち込むため海軍で採用されたとのこと。幕末頃の型と推定」と記載。幕末の砲術家 高島秋帆が西洋砲術訓練を板橋の徳丸原で行っているのを陳列されているのだと推測しました。

博物館を入るとすぐ左には1841年(天保12年)洋砲訓練で使われたモルチール砲と同型・同寸の大砲が展示されていました。幕末に小石川大砲製造所で製造した日本製と知り驚きました。



「板橋区立郷土資料館」は1972年(昭和47年)板橋の歴史や文化に関わる資料を保存・調査する文化施設として開館。写真下は1階常設展示室の風景です。



写真下左は徳丸原の砲術調練、写真下右はミニ企画展「江戸時代といたばし」。



2階は企画・特別展示室ですが当日はお休み期間でした。

敷地内には江戸後期の古民家(写真下左)や板橋宿で栄えた貸座敷「新藤楼」(写真下右)の玄関が移築されていて見学が出来ます。



開館は9時30分～17時。休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始です。

〔こぼれ話—1〕高島平

三田線の高島平駅と新高島平駅の間には「東洋一のマンモス団地」と言われた高島平団地が広がります。入居が始まってから半世紀近くたつ今も、64棟の集合住宅が並ぶ姿は壮観です。団地側と反対側に「徳丸ヶ原公園」があり、「徳丸原遺跡」と記された石碑(写真下左)と説明板がありました。



石碑には「天保 12 年 5 月高島太夫先生が幕府の命を承けて門人百余人を指揮し始めて洋式の歩砲兵隊操練等を行ひし処とする」

(原文のまま)と記されています。長崎の町の年寄で砲術家の高島秋帆(しゅうはん)が 1841 年(天保 12 年)現在の新高島平駅近くの「弁天塚」で指揮を取り、石碑はそこに立っ

ていましたが、駅周辺開発によりこの公園に移しました。

「高島平」の地名は高島秋帆からとったとのこと。

「東京大仏」の先にある「松月院」は高島秋帆が本陣を置いた地で境内に「紀功碑」(写真右)がありました。

説明板には「安政 4 年に鑄造された銅製二十四斤加農砲を碑心(注;碑の中心部か?)に火焰砲弾 4 発を配した大理石製の台座にのせた特異な形をとり、砲術に長けた高島秋帆を象徴する。総高 6 メートル」(原文)と記載。高島秋帆は 2021 年 NHK 大河ドラマ(主役は渋沢栄一)に登場します。



[こぼれ話—2] 赤塚城址跡と東京大仏

郷土資料館の裏山が「赤塚城址跡」と知り、溜池の後ろの階段を上りました。



「赤塚城本丸跡」の碑の脇の説明板には「一族の争いで千葉 市川城を追われた千葉自胤が上杉氏の助けを受け 1456 年(廉正 2 年)入城したと伝えられています。自胤は太田道灌に従って各地を転戦、武蔵千葉氏の基盤を築きました。北条氏が武蔵国へ進出するとこれに従い、豊臣秀吉に滅ぼされる 1590 年(天正 18 年)まで勢力をふるいました」と記載。

溜池の前の道は東京大仏通りで「乗蓮寺」の「東京大仏」(写真下左)に再度お会いしました。奈良、鎌倉の大仏は有名ですが、寅次郎は都民になるまで東京の大仏は知らず、東京都 WA のウォーキングで 2014 年(平成 26 年)に初めて訪れています。「赤塚城址」に続く台地で「乗蓮寺」境内には「赤塚城二の丸跡」の碑がありました。



「乗蓮寺」は高速道路の建設で1971年（昭和46年）から7年をかけて現在地に移転の際に天災・戦災等の無縁仏の供養と恒久平和を祈願し青銅製の「東京大仏」を建立したとのこと。

詳しくは寅さん歩 55 健康ご利益めぐり-15
板橋区 [こぼれ話] および寅さん歩 186 お江戸の閻魔大王-7 をご参照ください。

[板橋区立教育科学館] 板橋区常盤台 4-10-1

最寄駅 東武東上線 上板橋駅北口

「板橋区立教育科学館」は駅の正面のときわ通りを右折し直進すると左側にあります。広く科学に関する知識の普及・啓発を推進し、次世代を担う創造性豊かな青少年の健やかな育成を図るなどを目的に設立。身近な科学をテーマにした体験型の常設展示、各種教室・イベント、プラネタリウムがあります。写真下左は入口、右は1階の展示です。



2階は蝶(写真下左)や昆虫、化石の(写真下右)などの展示があります。



開館は9時～16時30分(夏休み期間中は17時まで)。休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日です。プラネタリウムの一部は有料です。

[植村冒険館] 板橋区蓮根 2-21-5 最寄駅 三田線 蓮根駅

「植村冒険館」(写真下左)は駅を出て左折、右折、左折と曲がります。この辺りから案内表示があります。1984年(昭和59年)2月、43歳で厳冬季のマッキンリーに単独登頂(世界初)成功を伝える無線交信を最後に消息を絶った植村直己は遭難までの約15年間板橋に住んでいました。2階の展示室には**植村直己の冒険を紹介する企画展示を行っています**。今回は「植村直己と遠征隊とエベレスト」(12月6日まで)です。1階は情報コーナーで図書約5000冊を有する「冒険図書館」です。



[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道(道中)」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年1月14日、福島県白河市(江戸から195kmの地点)に到着しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で例会が中止となっています。運動不足解消に自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください!

次回は 東京の博物館めぐりー41 です。

平野 寅次郎 拝